

第2号議案 令和4年度事業報告承認に関する件

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の波もあったが、年度後半は感染防止と並行して社会経済の再生、回復が模索され行動規制等の緩和が図られ、社会全体がコロナ後を見据えた動きとなった。しかし、コロナ禍からの脱却への期待や解放感とは裏腹に、国内外の経済状況はコロナ禍からの影響と国際情勢と相まみえ、多くの事業所では苦難な経営が続き、国民生活も家計支出の圧迫等、この後の景気後退リスクを抱えたまま、依然として不透明感が払拭できないなかでの愛知県社会保険労務士会（以下「本会」という。）の事業運営となった。

本会事業では、令和4年度通常総会において承認された事業計画に基づき、全国社会保険労務士会連合会（以下「連合会」という。）と密接な連携のもと会務を進めた。ただし、前年度から続くコロナ禍での事業運営となったことで、オンラインを用いた会議や研修を常態とし、その上で更なる会務の展開を図り、コロナ禍を契機にウイズコロナを前提とした執行体制の確立を見た。また各部各委員会の事業においも各事業を実施するにあたり、新型コロナの感染者状況を確認し、感染症防止のために十分な精査と審議を重ね、慎重に判断して事業を運営した。その結果、当初の事業計画から若干の修正はあったものの、令和4年度事業計画案で示した事業はほぼ執行することができた。

主な事業は以下のとおり。

1. 加速するデジタル化の推進では、コロナ禍で急速に展開される国のデジタル化戦略に乗り遅れないよう本会においてもデジタル化を推進させた。従来からの紙ベースのみの申込書類等が手元からスマートフォンやパソコンからでも送信できるように整備した。また、ウェブを利用した会議を常態とし、研修においても対面のみからオンデマンドとの併合等デジタル化の推進による会員の利便性向上に努めた。

2. 研修の充実では、会員の資質向上につながる研修は社労士業務の遂行に不可欠なものであり、かつ、会員からの多様な要望もあるなか、それらに応えるかたちでテーマを検討し、本会研修、専門コース研修、並びに中部地域協議会主催の研修を支援する等、研修の充実に努めた。

特に研修の受講スタイルにおいてはオンラインを有効に活用し、オンデマンド研修やeラーニング研修をその中心に据え、一部対面が必要な研修では従来型の集合スタイルも採用しながら、ウイズコロナのなかで会員の利便性向上との両立を目指した。

また、研修のオンデマンド化により、各支部で実施された研修には新たに創設した支部オンライン研修支援金制度を活用し支部研修の共有化と中部地域協議会の研修も共有化を図り、会員の研修受講に対しニーズに応じた内容の見直しと受講機会の拡大に努めた。

全体研修では、介護事業労務管理研修及び同フォローアップ研修とインボイス研修会を実施し、会員社労士の能力担保と職域拡大、税務行政への理解に努めた。

そして、新たに創設した本会独自の認定スタディグループ支援制度を運用し、会員の自己研鑽を支援するとともに研修参加の間口を広げ、会員の研修への一層の受講活用を目指した。

3. 委託事業を通じての行政等への協力では、新に新設した年金事業部で、かねてより課題となっていた年金事務所での年金相談委託業務における相談業務要員の新たな従事者候補の養成、補充、研修等教育の機会など、現状で抱える諸課題を解消するため一つずつではあるが実質的な検討を重ねた。特に年金相談事業の従事者を対象にしたスキルアップとなる研修事業に傾注し、今後の委託事業を通じての行政等への協力について信頼性の積み重ねに努めた。

一方では、関係行政機関等とも連携し社会保険労務士業務の推進に努め、相互信頼関係の維持推進を図った。

4. 社会貢献につながる業務の拡大においては、本会事業の大きな柱の一つであり、学校への出前

授業や病院等でのがん患者への就労支援事業を引き続き実施した。コロナ禍で縮小した依頼も回復傾向となり、依頼先となった教育機関や病院には会員が講師や相談員として誠実に対応した。また、産官民提携講座に基づく寄付講座も対面講義が復活し従来型のスタイルに戻り実施した。

更には、地方自治体との災害協力協定の締結では、各自治体がコロナ対応に追われるなかで、自治体側の理解を得て調印を進めることができた。

5. 職業倫理の研鑽では、連合会主導で行われてきた倫理研修は、現在は受講対象者がeラーニング方式により受講する方法となっているが、本会としては、社会保険労務士業としてのコンプライアンス（法令遵守）と職業倫理に徹した業務遂行の重要性に鑑み、倫理研修時にパソコンが不慣れな受講者に対しての支援や、定期に開催している新入会員を対象とした入会オリエンテーションの場等で職業倫理の重要性を説き、その他、業務基礎研修等必要に応じ、社会保険労務士の信用・信頼の維持、向上のため職業倫理の徹底を図った。
6. 勤務・その他会員と開業（社員）会員との連携の強化では、勤務等部の活動により、勤務等会員の事業参加と開業（社員）会員との交流の連携強化、そのことが勤務等会員の地位向上につながることで、勤務等部の活動が本会の一層の活性化を期待するものだが、交流会はコロナ禍のため縮小ぎみの活動となった。しかし、実施したなかでは、その道の専門性に優れた講師によるセミナーは受講会員の意識改革となり、勤務等会員の新たな可能性や活路を掘り起し、本会事業に一石を投じるものとなった。
7. 本会業務協力時の環境整備についての検討では、WEBを用いた会議を常態化し、会議構成員の移動の軽減と利便性の向上を図り、会務の停滞を防ぐことに努めた。
また、将来、会務運営に従事する人材の安定的な確保を目指すための本会や支部への業務協力時の在り方の検討においては、本会業務に貢献する会員のサポート支援として、会議構成員となる会員への出席時の金銭的支援の検討を進め、支部からの意見聴取も通じ、令和5年度には具体的な実施ができることを目途に審議、検討を進めた。
8. 関係団体との連携の強化においては、愛知中央SR経営労務センター（以下「中央SR」という。）、三河SR経営労務センター（以下「三河SR」という。）、一般社団法人社労士成年後見センター愛知（以下「成年後見センター愛知」という。）、株式会社あいち社労保険センター（以下「株あいち社労保険センター」という。）とは、関係団体連絡協議会等を通じ、各々の団体の活動について理解を深めた。特に株あいち社労保険センターとは幾度と協議会を開催し、相互の意思疎通を図り両者の利益、発展となる成果を確認した。
また、士業団体との意見交換会を通じ、関係の維持強化と社会保険労務士制度のPRに努めた。
9. 成年後見センター愛知の事業の充実と支援では、成年後見センター愛知の設立の目的（「高齢者、障害者等が自らの意思に基づき安心」して日常生活ができるように支援し、もって高齢者、障害者等の権利の擁護及び福祉の増進に寄与する。）に鑑み、本会としてその活動を支援した。
10. 会館の維持管理においては、会館の建物設備等の点検を行い、将来にむけた会館の維持管理に努めた。
11. 会館の健全な運営では、今後の会館運営の方向性が会員にとり最善の選択となるよう、本会の資産・財産である会館の健全な運営について審議した。会館運営特別委員会では、会館の将来を見据えて建物診断を実施した。
一方、株あいち社労保険センターとの協議会においては、会員等の会館駐車場利用で一定の合意ができ、会館の健全な運営に努めた。
12. 広報活動の更なる充実と事業展開においては、前年度に引き続き、コロナ禍の広報活動の再検討を行い、駅のコンコース等に設置されている電子広告版の利用等、電子媒体による広告に比重をおく広報を行うなど、効率、効果を重視した広報を展開した。
13. 連合会事業への協力では、本会と連合会との密接な連携のもと、街角の年金相談センター名古屋

屋及び千種の管理運営や委託事業として企業主導型保育事業における労務監査、倫理研修の受講支援等、連合会が実施する各種事業の運営に協力した。

14. その他の事業において、個別の事業として事業計画案のとおり遂行した。

以下、本会並びに各部、各委員会が企画した事業計画に基づき会務を推進した。

I 本会会議

1 総会

- 通常総会
- | | |
|------|--|
| 開催日時 | R4. 5. 27 13:30~16:10 |
| 開催場所 | 名古屋観光ホテル 3階「那古」 |
| 出席者数 | 代議員198人（構成員200人中会場出席者157人、議決権行使書及び委任状提出者41人、欠席者2人）、役員・傍聴等67人（合計225人） |
| 議 事 | 第1号議案 役員補充選任に関する件（承認）
第2号議案 令和3年度事業報告承認に関する件（承認）
第3号議案 令和3年度決算報告承認に関する件（承認）
第4号議案 特別会費の目的等変更承認に関する件（承認）
第5号議案 令和4年度事業計画案審議に関する件（承認）
第6号議案 令和4年度収支予算案審議に関する件（承認） |
- （懇親パーティーは開催せず。）

2 理事会

理事会は6回開催した。開催場所は本会（社会保険労務士会館）会議室を使用した。（以下、本会（社会保険労務士会館）会議室を使用した場合はその記載を省略する。）

◇第1回（WEB併用）R4. 4. 21 13:30~15:40 出席50人（うち委任6人）（構成員54人）

1. 年金事業部部長、副部長の選任並びに部員の承認について
2. 財務部令和4年度事業計画案の一部修正について
3. 令和4年度通常総会の運営について
4. 令和4年度通常総会議案書及び上程議案について
5. 令和3年度事業報告及び同収支決算について
6. 令和4年度事業計画案及び同予算案について

◇第2回（WEB併用）R4. 6. 16 15:00~16:00 出席52人（うち委任9人）

1. 令和4年度通常総会の総括について
2. 令和5年度通常総会にむけての意見交換

◇第3回（WEB併用）R4. 9. 21 15:00~16:10 出席52人（うち委任2人）

1. 認定スタディグループ支援制度規程<別表第1>の改正について
2. 事務局就業規則附属育児・介護休業等規程の改正について
3. 法制定55周年記念事業特別委員会の設置について
4. ADR運営委員会の令和5年度以降の方向性について

◇第4回（WEB併用）R4. 11. 16 15:00~16:35 出席53人（うち委任8人）

1. 今後の会館運営について
2. 法制定55周年記念事業特別委員会副委員長、委員の選任について
3. ADR運営委員会に係る会務執行細則の改正について
4. 会員証取扱細則の改正について

5. 令和5年度のADR諸手数料について

◇第5回（WEB併用）R5.1.25 13:30～16:35 出席52人（うち委任3人）

1. 会務執行細則の修正とADR運営委員会運営規則の制定について
2. 令和5年度事業計画案について
3. 令和5年度の財務編成方針について
4. 各部各委員会の令和5年度事業計画案及び同予算案について
5. 令和5年度通常総会の準備等について

◇第6回（WEB併用）R5.3.22 15:00～16:45 出席53人（うち委任4人）

1. 常設無料「総合労務相談室」運営規程の改正について
2. 会則の改正について
3. 令和5年度通常総会の運営について
4. 令和4年度事業報告及び決算見込みについて
5. 令和5年度事業計画案及び同予算案について

3 常任理事会

常任理事会は6回開催した。

◇第1回（WEB併用）R4.4.21 13:00～13:20 出席18人（構成員18人、以下同じ。）

◇第2回（WEB併用）R4.6.2 15:00～16:00 出席18人

◇第3回（WEB併用）R4.9.1 15:00～16:40 出席18人

◇第4回（WEB併用）R4.11.2 15:00～16:40 出席18人（うち委任1人）

◇第5回（WEB併用）R5.1.11 15:00～16:40 出席18人

◇第6回（WEB併用）R5.3.8 15:00～16:40 出席17人

4 正副会長会

正副会長会は、原則として毎月1日を定例開催として12回開催し、常任理事会及び理事会並びに支部長会への上程議題をはじめ、会務運営の基本的事項について審議した。

開催日は次のとおり。

R4.4.1、5.2、6.2、7.1、8.3、9.1、10.3、11.1、12.1、R5.1.6、2.1、3.6

5 支部長会

支部長会は5回開催した。

◇第1回 R4.6.8 15:00～16:25 出席17人（構成員18人、以下同じ）

1. 支部の固定資産の取得について
2. 社会貢献事業部「出前授業」事業講師の推薦依頼について
3. 「がん患者就労支援事業」事業相談員と候補者の推薦依頼について

◇第2回 R4.8.3 15:00～16:10 出席18人

1. 社労士の日無料相談会について
2. 令和5年度の支部会開催日程について

◇第3回 R4.10.5 15:10～16:05 出席18人

1. 法制定55周年記念事業特別委員会の委員の推薦について
2. 謝金制度、大規模災害に対する災害対応基金に対する支部から意見聴取について

◇第4回 R4.12.7 15:05～16:05 出席18人

1. 企画部事業説明会の開催について

◇第5回 R5.2.8 15:00～16:50 出席18人（うち委任1人）

1. 令和4年度秋の褒章等受章者への対応について
2. 令和5年度通常支部会・通常総会関係の報告依頼について
3. 令和4年度WM貸与運搬費の支部送金について

6 監査

監査は2回開催した。また、支部監査の事務説明のため支部監事との連絡会議を開催した。

監査 R4.4.14 令和4年度の業務・会計の監査

中間監査 R4.10.19 令和4年度（上半期）の業務・会計の監査

支部監事連絡会議 R5.2.22 本会監事3人、支部監事17人、本会役員他5人

II 連絡協議会

1 行政機関等との連絡協議会等

※補足

◇愛知労働局並びに東海北陸厚生局等との連絡協議会は、当初事業計画に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催しなかった。

2 関係団体連絡協議会

関係団体として愛知県社会保険労務士政治連盟、成年後見センター愛知、中央SR、三河SR、(株)あいち社労保険センターの5団体との連絡協議会を2回開催し、本会からは正副会長、専務理事及び事務局長が出席した。

◇第1回 R4.7.15

◇第2回 R5.3.2

3 連合会中部地域協議会

連合会中部地域協議会が開催する次の会議に出席した。

◇6月定例会 R4.6.14 本会出席役員3人 開催地 KKR金沢（石川県金沢市）

◇11月定例会 R4.11.29 本会出席役員7人 開催地 ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋（愛知県名古屋市）

4 名古屋自由業団体連絡協議会

名古屋自由業団体の構成団体として、同団体が開催する会議に出席した。

◇自由業フレッシュマンフォーラム10' R4.11.22 本会会員参加者22人 TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前

◇大学生のための資格業ガイダンス R4.11.17 担当出席者4人 名古屋大学
R4.11.29 担当出席者3人 愛知大学

◇生活お困りごと無料相談会 R5.1.22 相談員含担当出席者6人 名古屋ナディアパーク

◇定例会

1. 第123回 R4.9.7 本会出席役員3人 日本公認会計士協会東海会（以下同じ）

2. 第124回 R4.11.4 本会出席役員2人

3. 第125回 R5.3.16 本会出席役員4人

5 隣接士業等との意見交換会

愛知県弁護士会とは平成17年度から、行政書士会とは令和3年度から、日本労働組合総連合会愛知県連合会（以下「連合愛知」という。）とは平成25年度から毎年1回交流の場を設けているが、連合愛知との意見交換会は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い延期した。

◇愛知県弁護士会との意見交換会 R5.3.8 本会出席役員9人

◇行政書士会との意見交換会 R5.3.9 本会出席役員9人

6 愛知県「働き方改革」に向けた関係機関連絡協議会

愛知労働局が主管となる愛知県「働き方改革」に向けた関係機関（本会の他、愛知労働局、愛知県、名古屋市、愛知県経営者協会、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、愛知県中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、（一）名古屋銀行協会、愛知県信用金庫協会、（公）愛知労働基準協会、（公）あいち産業振興機構よろず支援拠点、（独）労働者健康安全機構愛知産業保健総合支援センター、名古屋税理士会、東海税理士会）による連絡協議会に關係役員が出席した。

◇令和4年度愛知県「働き方改革」に向けた関係機関連絡協議会 R5.2.3 本会出席役員1人

7 個別労働紛争解決制度関係機関連絡協議会

個別労働紛争解決制度を運用している機関・団体（本会の他、愛知労働局、愛知県産業労働部、愛知県労働委員会、名古屋地方裁判所、愛知県弁護士会、日本司法支援センター愛知地方事務所、中央労働委員会事務局中部地方事務所）による連絡協議会（愛知個別労働紛争解決制度関係機関協議会）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面開催となり、關係役員が意見等を提出した。

◇令和4年度個別労働紛争解決制度関係機関連絡協議会 R4.9.12 書面開催

8 その他関係機関等

- (1) 第2回愛知県「失業なき労働移動」推進プラットフォーム（R5.2.15 Zoom 会議）に關係役員が出席した。
- (2) 愛知県医療勤務環境改善支援センターが運営する協議会（R4.6.3）に關係役員が出席した。
- (3) 愛知県就労支援連絡会議が2回開催（第1回 R4.5.27、第2回 R4.7.14 KKRホテル名古屋）され、第1回は欠席したが第2回に關係役員が出席した。
- (4) 令和4年度第1回寄り添い弁護士制度による社会復帰支援モデル事業検討委員会（第1回 R4.5.9、第2回 R4.10.25、第3回 R5.2.3 アイリス愛知）に關係役員が出席した。
- (5) 令和4年度第1回愛知県再犯防止連絡協議会（第1回 R4.6.3 アイリス愛知、第2回 R5.3 書面会議）に關係役員が出席した。
- (6) ㈱あいち社労保険センターとは、本会会館の運営に関する事項について、正副会長が出席して連絡調整のための協議会を5回行った。

III 事業

1 本会の事業

(1) 全体研修の実施

重要事項や会員の関心度が高い事項をテーマとして正副会長会が所掌し全会員を対象に行う全体研修を開催した。開催した研修と受講者数は次のとおり。

◇介護事業労務管理研修 R4.7.26・27 認定修了者34人

◇過去の介護事業労務管理研修修了者を対象とした同フォローアップ研修 R4.10.6 受講

46人

◇インボイス制度研修会 R4.10.26 受講者（対面とオンデマンド合計）は352人

(2) 日本年金機構「年金相談窓口等の運營業務」の受託

ア. 年金事務所等における年金相談窓口等運營業務として、県内16か所の年金事務所において令和4年4月から令和5年3月まで、延6,705人が従事した。

イ. 市区町村等の施設で実施する出張相談業務として、県内4市5ヶ所の施設において令和4年4月から令和5年3月まで、延229人が従事した。

(3) 官署（所）等協力事業

ア. 愛知労働局（支部管轄の労働基準監督署及び公共職業安定所）での労働保険年度更新事務の協力事業を、関係支部を通じて行った。

イ. (財)愛知県社会保険協会の依頼を受けて、県内10カ所の年金事務所等において開催された社会保険事務講習会に相談員として延10人の会員が従事した。

(4) 全国社会保険労務士会連合会関係

ア. 令和4年度通常総会が令和4年6月30日「パレスホテル東京」（東京都）において開催され、本会からは連合会理事として杉田貴信、鬼頭和裕、市川孝友、木村美恵子の4人と連合会通常総会代議員として武讓二、木村省吾、秋野恭子、高橋克輔、伊藤光江、山下裕子、桑山忠孝、長坂英樹、水野勝康、船間廣治、夏山勇、彦坂雅司、鈴木久子（敬称略）の13人が出席又は議決権行使した。なお、付議議案はすべて提案どおり承認可決された。

イ. 日本年金機構から運営委託を受けて平成22年1月から始まった街角の年金相談センター名古屋及び千種の管理運營業務を愛知運営部として行うとともに、15人の会員が両相談センターにおいて輪番により一般年金相談業務に従事した。

ウ. 連合会の研修課程による倫理研修は、受講対象者が直接連合会のeラーニングを受講し習得、修了する方法となったが、パソコン操作に不慣れな受講対象会員のため、希望者にはパソコンの貸し出しや操作指導、また受講時の手順の助言等により対象会員への受講を支援した。

エ. 企業主導型保育事業における労務監査の委託事業に会員の協力を得て履行した。

オ. 社会保険労務士国家試験事務に協力した。

カ. 紛争解決手続代理業務試験事務を履行し、これに伴う特別研修を運営した。

キ. 労働社会保険諸法令関係事務指定講習の実施に協力した。

ク. 社会保険労務士賠償責任保険制度の周知及び加入勧奨に協力した。

ケ. 全国社会保険労務士国民年金基金への加入勧奨に協力した。

(5) その他

ア. 令和5年度が社会保険労務士法制定55周年の節目になることから、愛知県会として当周年事業を運営する法制定55周年記念事業特別委員会を設置した。

イ. 会館トイレ排水管の補修工事を行った。

ウ. 会館駐車場利用ガイドラインを制定した。

2 各部・委員会の事業

(1) 総務部 部会を6回開催した（ただし、小委員会は省略。（以下同じ。））。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回 R4.4.14 14:00~17:00 出席13人（うち委任1人）（構成員13人、以下同じ）

1. 令和4年度通常総会の開催について

◇第2回（WEB併用）R4.7.19 14:00~16:00 出席13人（うち委任1人）

1. 令和4年度通常総会開催結果について

2. 諸規程の見直しについて
3. 令和3年度新入会員歓迎式の振替開催について

◇第3回（WEB併用）R4. 8. 30 15:00~17:00 出席13人

1. 令和3年度新入会員歓迎式の振替開催について
2. 諸規程の見直しについて

◇第4回（WEB併用）R4. 10. 19 15:00~17:00 出席13人（うち委任1人）

1. 令和3年度新入会員歓迎式の振替開催について
2. 諸規程の見直しについて
3. 令和5年度事業計画及び予算案について

◇第5回（WEB併用）R4. 12. 9 15:00~17:40 出席13人（うち委任3人）

1. 新入会員歓迎式について
2. 会員専用サイト名簿取扱いについて
3. 諸規程の見直しについて
4. 令和5年度通常総会の運営について

◇第6回（WEB併用）R5. 2. 9 15:00~17:00 出席13人

※会議開催場所は豊橋市民センターカリオンビル

1. 令和4年度新入会員歓迎式について
2. 諸規程の見直しについて
3. 令和5年度通常総会の準備について

□主な事業

- ア. 通常総会、その他の各種役員会議が円滑に進行するようその運営を支援した。
- イ. 令和3年度の新規入会会員に対し入会歓迎式（当初令和4年3月5日開催予定、新型コロナウイルス感染症拡大防止により延期）を令和4年11月3日（祝）サイプレスガーデンホテルで開催し、関係役員37人と新入会員39人が出席した。
- ウ. 令和4年度の新規入会会員に対し入会歓迎式を令和5年3月4日（土）サイプレスガーデンホテルで開催し、関係役員37人と新入会員46人が出席した。
- エ. 諸規程の改正を行った。
- オ. 会員名簿（ホームページ版）を定期的に更新し、会員の利便性向上に努めた。
- カ. 該当会員に会長褒章、慶祝金、弔慰見舞金を贈呈した。
- キ. 官署（所）に掲示する名札板について、必要に応じた整備・補充を行った。

(2) 財務部 部会を7回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回（WEB併用）R4. 4. 13 15:00~17:00 出席13人（うち委任3人）（構成員13人、以下同じ）

1. 令和3年度決算について
2. 令和4年度収支予算案について
3. 令和4年度財務部事業計画案について
4. 会費の収納状況及び会費未納者の取扱いについて
5. 支部備品取得申請について

◇第2回（WEB併用）R4. 7. 15 15:00~17:00 出席13人（うち委任2人）

1. 令和4年度事業計画の確認について
2. 令和4年度予算の執行状況について
3. 令和4年度通常総会の執行状況について
4. 会務運営に貢献する会員に対する謝金制度について

5. 大規模災害に対する災害対応基金について
6. 会費の収納状況及び会費未納者の取扱いについて
7. 支部備品取得申請について

◇第3回（WEB併用）R4.9.15 15:00～17:00 出席13人（うち委任3人）

1. 令和4年度予算の執行状況について
2. 予算折衝会議について
3. 会務運営に貢献する会員に対する謝金制度について
4. 大規模災害に対する災害対応基金について
5. 会費の収納状況及び会費未納者の取扱いについて
6. 支部への備品貸与について

◇第4回（WEB併用）R4.10.14 10:00～11:30 出席13人（うち委任2人）

1. 令和4年度予算の執行状況並びに執行見込について
2. 令和5年度予算編成方針について
3. 会費の収納状況及び会費未納者の取扱いについて
4. 支部備品取得申請について
5. 中間監査について

◇第5回（WEB併用）R4.12.12 15:00～17:10 出席12人（うち委任1人）

1. 令和4年度予算の執行状況について
2. 予算折衝会議について
3. 会議運営に貢献する会員に対する謝金制度について
4. 大規模災害に対する災害対応基金について
5. 会費の収納状況及び会費未納者の取扱いについて
6. 支部監事連絡会議について

◇第6回（WEB併用）R5.1.24 15:00～17:10 出席13人（うち委任3人）

1. 令和4年度予算の執行状況及び執行見込について
2. 令和5年度収支予算案について
3. 会務運営に貢献する会員に対する謝金制度について
4. 会費の収納状況及び会費未納者の取扱いについて
5. 支部監事連絡会議について

◇第7回（WEB併用）R5.3.16 15:00～16:30 出席13人（うち委任1人）

1. 令和4年度予算の執行状況並びに執行見込について
2. 令和5年度収支予算案について
3. 会務運営に貢献する会員に対する謝金制度について
4. 会費の収納状況及び会費未納者の取扱いについて
5. 支部監事連絡会議について

□主な事業

- ア. 令和4年度決算報告書及び令和5年度予算案を作成した。
- イ. 予算折衝会議において、各部・各委員会と令和5年度予算について協議した。
- ウ. 会費未納入者に対し納入を督促した。
- エ. 法的手段をもって未収会費の徴収に努めた。
- オ. 会費の納入における口座引落しの方法への移行手続きを勧奨した。
- カ. 会務運営に貢献する会員に対する謝金制度について検討した。
- キ. 大規模災害に対する災害対応基金等について検討した。
- ク. 支部監事との連絡会議を開催した。

(3) **研修部** 部会を6回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回(WE B併用) R4. 4. 11 14:00~16:00 出席13人(うち委任2人)(構成員13人、以下同じ)

1. 研修実施状況報告
2. 令和4年度 事業計画案の最終報告
3. 令和4年度 本会研修の内容検討
4. 支部オンライン研修支援金の運用詳細検討
5. 認定スタディグループ支援制度の運用詳細検討

◇第2回(WE B併用) R4. 5. 13 10:00~12:00 出席13人(うち委任1人)

1. 研修申込状況報告
2. 令和4年度 事業計画案の最終報告
3. 令和4年度 本会研修の内容検討
4. 支部オンライン研修支援金の運用詳細検討
5. 認定スタディグループ支援制度の運用詳細検討

◇第3回(WE B併用) R4. 7. 5 10:00~12:00 出席13人

1. 研修申込状況報告
2. 研修企画状況
3. 今年度の役割分担
4. 認定スタディグループ支援制度について
5. 支部オンライン研修支援制度について
6. オンライン研修受講率向上のための対策について

◇第4回(WE B併用) R4. 9. 20 15:00~17:10 出席13人(うち委任3人)

1. 令和4年度 専門コース研修スタートダッシュ研修について
2. 令和4年度 第2回本会研修について
3. 令和4年度 第2回随時研修について
4. 認定スタディグループの申請状況・発表会について
5. 支部オンライン化の運営状況報告
6. 令和5年度 事業計画案および予算案について

◇第5回(WE B併用) R4. 11. 2 10:00~11:45 出席13人

1. 令和4年度 今後開催の研修について
2. 認定スタディグループの申請状況・発表会について
3. 支部研修オンライン化の運営状況報告
4. 令和5年度 事業計画案について

◇第6回(WE B併用) R5. 2. 2 10:00~11:30 出席13人(うち委任1人)

1. 認定スタディグループ運営状況(発表会等)について
2. 支部研修オンライン化支援制度運営状況について
3. 令和5年度 事業計画報告について
4. 令和5年度 継続事業として実施する研修報告について

□主な事業

ア. 会員の資質向上のため、次の研修を行った。

(1) 本会研修

第1回「賃金請求権時効延長等でトラブル急増が予想される労働時間・不払い残業代問題への対応」(R4. 8. 9 ウィンクあいち) 対面研修に会員79人が受講し、この後のオンデマンド研修(受講期間はR4. 9. 1~R4. 10. 31)に431人が受講(他県会会員240人受入受講)

第2回「フェーズⅡ働き方改革を進めるための法的論点と実務対応の具体策」(R5.1.26 ウィンクあいち) 対面研修に会員62人が受講し、この後のオンデマンド研修(受講期間はR5.2.14~5.12)に144人が受講(R5.3.31現在)

(2) 専門コース研修

i) 業務基礎

- ・ステップアップ研修 eラーニング研修 全5回(内1回は対面でも開催) / 受講会員数146人(他県会会員43人を受入受講)
- ・スタートダッシュ研修 eラーニング研修 全6回(内2回は対面でも開催) / 受講会員数73人(他県会会員19人を受入受講)

ii) 労務実務研修 eラーニング研修 全5回 / 受講会員数261人(他県会会員92人を受入受講)

Ⅲ) 新入・若手会員のための基礎講座 eラーニング研修(受講期間はR9.27~R5.1.10) 会員126人が受講(他県会会員64人を受入受講)、会場での対面研修(R5.1.14)に会員14人が受講

(3) 随時研修

第1回「事業継承とM&A 売り手側と買い手側での社労士の役割」eラーニング研修(受講期間はR4.9.8~R4.11.13) 受講会員数230人(他県会会員131人を受入受講)

第2回「社労士として理解しておきたい【運送業の労務管理】のポイントと提案」eラーニング研修(受講期間はR5.1.30~R5.4.23) 受講会員数314人(R5.3.31現在)

(4) 連合会中部地域協議会主催研修

i) 労務管理研修(R4.8.29 ウィンクあいち)対面研修に会員29人受講し、この後のオンデマンド研修(受講期間はR4.10.5~R5.1.4)に109人が受講

ii) 東海4県特別研修(R5.3.20 名鉄グランドホテル) 対面受講にて会員30人受講し、この後のオンデマンド研修(受講期間はR5.3.30~R5.6.30)に13人が受講(R5.3.31現在)

(5) 支部オンライン研修

10本の支部研修の共有を実施した。

イ. 認定スタディグループ

7つのグループが準認定スタディグループとして活動した。

令和5年3月25日に発表会を開催(各グループの研究成果の発表等を実施) 参加者は41名

(4) 広報部 部会を6回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回(WE B併用) R4.4.12 14:00~17:50 出席13人(うち委任2人)(構成員13人、以下同じ)

1. 中部経済新聞(令和4年度)の名刺広告について
2. 日本経済新聞(6月)の名刺広告について
3. ラジオCM(6月)について
4. We b 広告(令和4年度)について
5. デジタルサイネージ(6月)について
6. PRビデオの制作について
7. 中部経済新聞への提供記事(6月)について
8. 会報(6月号)の準備について

◇第2回(WE B併用) R4.6.14 14:00~16:25 出席13人(うち委任2人)

1. PRビデオの制作について
2. 中部経済新聞への提供記事(9月)について
3. 会報(8月号)の準備について

◇第3回（WEB併用）R4.7.28 14:00~16:40 出席13人（うち委任3人）

1. Web広告（令和4年度）について
2. デジタルサイネージ（11月）について
3. テレビ塔広告（12月）について
4. ラジオCM（11・12月）とラジオ取材について
5. 中日新聞（12月）の名刺広告について
6. PRビデオの制作について
7. 中部経済新聞への提供記事（12月）について
8. 会報（10月号）の準備について

◇第4回（WEB併用）R4.10.20 14:00~17:55 出席13人（うち委任1人）

1. 中日新聞（12月）の名刺広告について
2. Web広告について
3. 日本経済新聞（2月）の名刺広告について
4. ラジオ取材について
5. 部・委員会紹介ビデオの制作について
6. 次年度の事業計画案と予算案について
7. 中部経済新聞への提供記事（12月）について
8. 会員への郵送の個別対応について
9. 会報（1月号）の準備について

◇第5回（WEB併用）R4.11.24 15:00~17:25 出席13人（うち委任5人）

1. Web広告について
2. ラジオCM（4月）について
3. 部・委員会紹介ビデオの制作について
4. 次年度の事業計画案と予算案について
5. 中部経済新聞への提供記事（4月）について
6. 会報（1月号）の準備について

◇第6回（WEB併用）R5.2.17 14:00~17:10 出席13人（うち委任3人）

1. 中部経済新聞（令和5年度）の名刺広告について
2. 次年度の事業計画案と予算案について
3. Web広告（令和5年度）について
4. 日本経済新聞（6月）の名刺広告について
5. ラジオCM（6・7月）について
6. デジタルサイネージ（6月）について
7. 部・委員会紹介ビデオの制作について
8. 中部経済新聞への提供記事（4月）について
9. 会報（4月号）の準備について

□主な事業

ア. 会報誌「SR Bridge」を5回（第234号から第238号）発行した。

イ. 制度PRのため新聞に名刺広告と企画記事を掲載した。

(1) 日本経済新聞

i) 令和4年6月24日朝刊「労働保険料申告納付・社会保険算定基礎届（愛知・岐阜・三重3県共同掲載）／本会参加会員110人

ii) 令和5年2月21日朝刊「会長座談会」（愛知・岐阜・三重3県共同掲載）／本会参加会員64人

(2) 中部経済新聞

- i) 令和4年9月22日「社会保険労務士業務」(愛知単独掲載) / 本会参加会員29人
- ii) 6月、9月、12月に社会保険労務士業務に関する記事を提供した。

(3) 中日新聞

令和4年12月2日朝刊「社会保険労務士の日」(三重県会との共同掲載) / 本会参加会員311人

ウ. 制度PRのため、東海ラジオとCBCラジオで15秒スポットCMを放送した。

- ・入社・異動時期で4月4日から21日までの期間中に14本。
- ・定時決定・年度更新時期で6月1日から28日までの期間中に20本。
- ・社会保険労務士の日時期で11月1日から12月4日までの期間中に54本。

エ. 12月2日、イオンモール新瑞橋店でCBCラジオレポートドライバーの取材に応じた。

オ. 令和4年12月1日から31日まで、名古屋テレビ塔において電光掲示板による30秒広告を240回放映した。

カ. Yahoo! JAPANでのインターネット広告を4月から令和5年3月まで実施した。

キ. PRビデオを制作し、YouTubeで一般公開したほか、支部に提供した。

ク. 本会及び岐阜県会、三重県会の広報担当役員による広報連絡会議をWEB併用で6回開催し、3県会合同の広報活動を協議検討した。

ケ. 名古屋自由業団体主催の会議や行事に参加した。

(5) 企画部 部会を6回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回(WEB併用) R4.6.29 15:00~16:10 出席13人(構成員13人、以下同じ)

- 1. 令和4年度事業計画について
- 2. 事業説明会について
- 5. 今年度部会日程について

◇第2回(WEB併用) R4.8.8 10:00~11:00 出席13人(うち委任1人)

- 1. 事業説明会について
- 2. 新規事業計画案について

◇第3回(WEB併用) R4.9.16 15:00~16:20 出席13人(うち委任2人)

- 1. 事業説明会について
- 2. 新規事業計画案について

◇第4回(WEB併用) R4.11.10 10:00~11:50 出席13人(うち委任3人)

- 1. 事業説明会について
- 2. 企画案の検討
- 3. 来年度の事業計画と予算案について

◇第5回(WEB併用) R5.1.12 10:00~11:45 出席13人(うち委任2人)

- 1. BCPの取り組みに関する検討
- 2. 事業説明会について
- 3. 来年度の事業計画と予算案について

◇第6回(WEB併用) R5.3.2 10:00~11:15 出席13人(うち委任1人)

- 1. 事業説明会の反省
- 2. BCPの取り組みに関する検討
- 3. 来年度の事業引継ぎ

□主な事業

ア. 従来の意見交換会に代わる事業説明会を座談会形式にてオンライン併用で開催(R5.2.16)

し、会員41人（うちWEB参加 2 人）が出席した。この後オンデマンド配信（配信期間は R5.3.1～3.31）にて154回の視聴があった。また、事業概要を本会ホームページ（会員専用サイト）及び会報SRブリッジ4月号で報告した。

イ. 社会保険労務士の自身事務所における事業継続計画（BCP）作成に関する検討を進めた。愛知県経済産業局主催のBCPセミナーに出席し、また部会で中小機構中部本部から講師を招き、連携事業継続力強化計画の詳細や介護事業所向けの提案の可能性を教示され、社会保険労務士業として自身の経営におけるBCPの取り組みへの重要性を確認した。

(6) 業務部 部会を5回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回（WEB併用）R4.5.13 15:00～17:00 出席13人（うち委任1人）（構成員13人、以下同じ）

1. 令和4年度専門業務登録員の登録について
2. 令和4年度上半期総合労務相談室相談員の選任について
3. 令和4年度くらしの行政・法律相談所相談員の選任について
4. 講師紹介について
5. 総合労務相談室運営規程の見直しについて

◇第2回（WEB併用）R4.7.21 15:00～17:00 出席13人（うち委任1人）

1. 社労士の日無料相談会について
2. 令和4年度下半期総合労務相談室相談員の募集について
3. 総合労務相談室運営規程の見直しについて
4. 講師紹介について

◇第3回（WEB併用）R4.9.28 15:00～17:15 出席13人（うち委任1人）

1. 社労士の日無料相談会について
2. 令和4年度下半期総合労務相談室相談員の選任について
3. 総合労務相談室運営規程の見直しについて
4. 講師派遣について
5. 令和5年度事業計画案及び予算案について

◇第4回（WEB併用）R4.12.14 15:00～17:00 出席13人（うち委任5人）

1. 令和5年度事業計画案及び予算案について
2. 社労士の日無料相談会について
3. 総合労務相談室運営規程の見直しについて
4. 令和5年度専門業務登録員の募集内容について
5. 令和5年度上半期総合労務相談室相談員の募集内容について
6. 令和5年度くらしの行政・法律相談所相談員募集内容について
7. 講師派遣について

◇第5回（WEB併用）R5.3.14 15:00～17:00 出席13人（うち委任1人）

1. 令和5年度事業計画案及び予算案の確認について
2. 総合労務相談室運営規程の見直しについて
3. 令和5年度専門業務登録員の募集案内について
4. 令和5年度上半期総合労務相談室相談員の募集案内について
5. 令和5年度くらしの行政・法律相談所相談員募集案内について
6. 講師派遣について

□主な事業

ア. 令和4年度の専門業務登録員の登録（120人）を行った。

イ. 公的機関等外部からの講師、相談員依頼に対し専門業務登録員を派遣又は紹介した。名古屋市、その他団体等に延79人の登録員を派遣又は紹介した。

ウ. 毎週火曜日に総合労務相談室を開設し、延100人の相談員が509件の相談に応じた。

エ. 社会保険労務士の日無料相談会の経費支弁及び配布品等を支援した。無料相談会は各支部において全21か所で開設し、支部相談員延98人が404件の相談に応じた。

(7) 勤務等部 部会を4回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回(WE B併用) R4. 7. 30 10:00~12:00 出席13人(うち委任4人)(構成員13人、以下同じ)

1. 新メンバーの紹介について
2. 今年度の講演会等の開催内容と日程について
3. 次回講演会の開催内容、日程と開催方式について
4. 勤務等部小委員会「医療労務管理研究会」の認定スタディグループへの移行について
5. 勤務等部員の本会開催行事への参加について

◇第2回(WE B併用) R4. 10. 8 10:00~11:20 出席13人(うち委任2人)

1. 本日の講演会の準備と進行について
2. 次回12月10日(土)の講演会について
3. 11月3日(木・祝)の新入会員歓迎式の勤務等会員の体験談参加者について
4. 12月15日(木)の来年度予算折衝について
5. 認定スタディグループ「医療労務管理研究会」の状況報告について
6. 連合会及び他県会との交流について
7. 来年度からの勤務等部主催のイベントについて

◇第3回(WE B併用) R4. 12. 10 10:00~11:30 出席12人

1. 本日の講演会の準備と進行について
2. 次回の講演会と懇親会の開催について
3. 3月4日(土)の新入会員歓迎式の勤務等会員の体験談参加者について
4. 12月15日(木)の来年度予算折衝について
5. 認定スタディグループ「医療労務管理研究会」の状況報告について
6. 連合会及び他県会との交流について
7. 来年度からの勤務等部主催のイベントについて

◇第4回(WE B併用) R5. 2. 18 10:00~11:45 出席13人(うち委任3人)

1. 本日講演会の役割分担について
2. 予算案の折衝報告について
3. 3月4日新入会員歓迎式参加について
4. 来年度行事の大まかなデッサンについて
5. 政治連盟の加入活動について

□主な事業

ア. 勤務等講演会を3回開催した。

第1回「情報セキュリティ規程の作成と見直し」(令和4年10月8日(土)) 13:00~17:00 出席46人(会場20人、WE B26人)

第2回「会社が劇的に変わる!人事評価制度の基本から実践まで」(令和4年12月10日(土)) 13:30~17:00 出席138人(会場53人、WE B85人)

第3回「医師の働き方改革と労務管理」(令和5年2月18日(土)) 13:30~17:00 出席125人(会場34人、WE B91人)

イ. 連合会の事業実施に資するため、講演会の撮影動画を情報提供した。

(8) 社会貢献事業部 部会を3回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回 R4.6.7 14:00~16:00 出席23人(うち委任4人)(構成員23人、以下同じ)

1. 留学生就労支援事業について
2. 出前授業事業について
3. その他事業について
4. その他の議題

◇第2回 R4.11.21 10:30~12:00 出席23人(うち委任1人)

1. 出前授業事業について
2. その他事業について
3. 来年度予算案について
4. その他の議題

◇第3回 R5.2.9 10:30~12:00 出席23人(うち委任2人)

1. 出前授業事業について
2. その他事業について
3. 来年度予算について
4. その他議題について

□主な事業

ア. 愛知県等に労働条件審査の実施(岡崎市1件・蒲郡市2件)並びに当会への委託に向けた働きかけをした。

イ. 出前授業を中学校(3校)高等学校(18校)及び大学、専門学校等(15校)で実施し、延68回の講義に32人の会員が講師として出向き、計4,651人の児童、生徒、学生が受講した。

ウ. 出前授業事業のため、各支部から推薦があった講師推薦の意見交換会を開催し、会員26人が出席した。

エ. 県内の自治体と大規模災害時に被災した市民等に本会として労務や社会保険について相談支援を提携する協力協定(「大規模災害時における労働・社会保険等の相談に関する協定書」)を1町と締結し、協定を締結した自治体は19市町となった。

[令和4年度に協定を締結した市(括弧内は締結日)]

・武豊町(R4.8.18)

[既に協定を締結している市町]

・犬山市(R3.9.22)

・豊川市(R3.3.27)

・みよし市(R3.1.21)

・蒲郡市(R2.11.2)

・豊橋市(R2.8.19)

・大府市(R2.7.31)

・日進市(R2.7.7)

・津島市(R2.3.31)

・稲沢市(R2.2.20)

・愛西市(R1.12.17)

・小牧市(R1.7.26)

・南知多町(R1.5.17)

・長久手市(R1.5.14)

・半田市(H31.3.22)

・常滑市(H30.8.6)

・春日井市(H30.4.27)

・名古屋市(H29.10.12)

・一宮市(H29.10.3)

オ. 県内にある病院等18施設において、がん患者の就労支援相談を実施し、延143人の相談員が196件相談に応じた。

カ. がん患者就労支援事業のため、各支部から推薦があった相談員推薦の勉強会を開催し、会員22人が出席した。

キ. 愛知学院大学で「産官民提携講座」に基づき講義を行った。11人の会員が講師として15回の講義を行い、約40人の学生が所定の単位を取得した。

◇愛知学院大学 講義テーマ「働く上で知っておきたいワークルール」全15回

(9) 年金事業部 部会を6回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回(WE B併用) R4.6.8 10:00~12:00 出席15人(構成員15人、以下同じ)

1. 部会の所掌事項・令和4年度事業計画・予算の確認について
2. 年金相談員受託事業等における現状の課題と問題点について
3. 研修スケジュールの確認・講師選定等について
4. 部会開催日程について

◇第2回(WE B併用) R4.7.14 10:00~12:00 出席15人(うち委任1人)

1. 第一回年金ガイダンスの総括
2. 今年度研修の講師、世話人の選任
3. 年金事務所担当者会議の実施

◇第3回(WE B併用) R4.9.15 10:00~12:00 出席15人(うち委任1人)

1. 研修アンケートの項目・フォーマットの見直し
2. 来期の研修体系・料金の見直し
3. 年金事務所担当者会議の実施時期
4. 本会主導で年金相談員を募集・配置する制度の検討
5. 年金実務研修(8/27)および年金相談員研修(9/10)の報告

◇第4回(WE B併用) R4.12.5 15:00~16:00 出席15人(うち委任1人)

1. 令和5年度研修体系及びスケジュール(案)
2. 令和5年度「事業計画」及び予算(案)
3. 年金相談員希望者へのアプローチ方法の検討
4. 年金機構との連絡協議会開催の検討
5. 研修実務報告その他

◇第5回(WE B併用) R5.1.17 10:00~12:00 出席15人(うち委任1人)

1. 令和5年度「事業計画」及び予算(案)の確認
2. 年金相談員希望者へのアプローチ方法(案)
3. 年金事務所担当幹事協議会の報告
4. 研修実施報告その他

◇第6回(WE B併用) R5.3.6 13:00~15:00 出席15人(うち委任2人)

1. 令和5年度研修日程及び講師の選任
2. 令和5年度年金相談員の募集・配置及び支部支援方法について
3. 研修実施報告その他

□主な事業

ア. 会員の年金業務に係る資質向上のため、各種研修を実施した。

(1) 年金実務研修(基礎)

第1回 対面研修(R4.8.27)とオンデマンド研修(受講期間はR4.9.26~R4.11.25)に会員148人が受講

第2回 対面研修(R4.10.29)とオンデマンド研修(受講期間はR4.12.6~R5.2.10)に会員121人が受講

第3回 対面研修(R5.1.28)とオンデマンド研修(受講期間はR5.2.27~R5.4.28)に会員122人が受講

(2) 年金実務研修(高度)

第1回 対面研修(R5.9.30)とオンデマンド研修(受講期間はR4.10.31~R5.1.6)に会員142人が受講

第2回 対面研修 (R4. 11. 5) とオンデマンド研修 (受講期間は R4. 12. 6～R5. 2. 10) に会員131人が受講

第3回 対面研修 (R5. 2. 10) とオンデマンド研修 (受講期間は R5. 3. 13～R5. 5. 19) に会員133人が受講

(3) 年金相談員研修 (基礎)

第1回 対面研修 (R4. 9. 10) とオンデマンド研修 (受講期間は R4. 9. 26～R4. 12. 2) に会員191人が受講

第2回 対面研修 (R5. 1. 21) とオンデマンド研修 (受講期間は R5. 2. 13～R5. 4. 21) に会員141人が受講

(4) 年金相談員研修 (高度)

第1回 eラーニングによる研修 (受講期間は R4. 11. 14～R5. 3. 31) に年金事務所相談員94人が受講

第2回 eラーニングによる研修 (受講期間は R4. 12. 23～R5. 3. 31) に年金事務所相談員94人が受講

(5) 年金業務新人向けガイダンス

第1回 対面研修 (R4. 6. 25) に会員84人が受講

第2回 対面研修 (R4. 12. 17) に会員31人が受講

イ. 年金相談業務担当幹事との連絡会議 (R4. 12. 5) を実施した。

(10) 法務・社会保険労務士業務改革委員会 委員会を2回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回 (WEB併用) R4. 11. 7 15:30～17:00 出席13人 (うち委任1人) (構成員13人、以下同じ)

1. ADRに関する調査研究の研究計画について
2. 愛知県社会保険労務士政治連盟からのレクチャーについて
3. 令和5年度予算編成について
4. 会長からの諮問事項について

◇第2回 (WEB併用) R5. 1. 30 15:45～17:00 出席12人 (うち委任3人)

1. 全政連の動きに関するレクチャーについて
2. 令和5年度の予算案及び事業計画案について
3. 会長からの諮問事項について

□主な事業

ア. 会長の諮問を受け「組織再編の方向性」について答申した。

(11) 電子化推進委員会 委員会を5回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回 (WEB併用) R4. 4. 7 15:00～17:00 出席13人 (うち委任2人) (構成員13人、以下同じ)

1. 会員サイトのリニューアル準備について

◇第2回 (WEB併用) R4. 6. 9 15:05～17:05 出席13人 (うち委任3人)

1. 会員サイトのリニューアル準備について
2. 電子申請フェアの実施について

◇第3回 (WEB併用) R4. 7. 6 15:00～16:50 出席13人 (うち委任4人)

1. 電子申請フェアの実施について
2. 会員サイトのリニューアル準備について

◇第4回（WEB併用）R4.9.29 13:30～17:05 出席13人（うち委任2人）

1. 会員サイトリニューアルのコンペについて

◇第5回（WEB併用）R4.10.27 15:00～16:40 出席13人（うち委任9人）

1. 会員サイトリニューアル業者の選定について

2. 電子申請フェアの運営について

◇第6回 R5.1.23 12:00～12:25 出席13人（うち委任3人）

1. セキュリティ優先サーバ導入に関するアンケートについて

2. 次年度の事業計画案及び予算案について

□主な事業

ア. メルマガを3回（第151号から第153号まで）配信した。読者数は令和5年3月31日現在で1,398人。

イ. 本会ホームページの公式サイトと会員専用サイトを運用した。

(<https://www.aichi-sr.or.jp>)

ウ. 会員サイトリニューアル準備のため、9月29日にコンペを実施した。

エ. 令和5年1月23日に電子申請フェアを本会会館にて開催し、セミナーと業務ソフト展示会を行った。出展企業は10社、会員とその職員が会場24人、Zoom13人、計37人参加した。

(12) 監察綱紀委員会（開催せず。）

(13) 会館運営特別委員会 委員会を5回開催した（設置からでは通算64回）。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回（通算第60回）R4.6.8 16:30～17:40 出席16人（構成員17人、以下同じ）

1. 令和4年度の修繕（修理）計画について

2. 会館運営における当面の課題等について

◇第2回（通算第61回）R4.8.3 16:20～17:35 出席16人（うち委任1人）

1. ㈱あいち社労保険センターとの賃貸借契約の更新について

◇第3回（通算第62回）R4.10.5 16:15～17:00 出席17人（うち委任1人）

1. 不動産鑑定評価書について（報告）

2. ㈱あいち社労保険センターとの協議会について（報告）

3. ㈱あいち社労保険センターとの賃貸借契約書の見直しについて

4. 会館運営における当面の課題等について

◇第4回（通算第63回）R4.12.7 16:15～17:00 出席17人

1. ㈱あいち社労保険センターとの協議会について（報告）

2. 令和4年度の会館運営委員会及び会館関係予算について

3. 会館運営における当面の課題等について

◇第5回（通算第64回）R5.2.8 16:45～17:10 出席17人

1. ㈱あいち社労保険センターとの協議会について（報告）

2. 会館運営における当面の課題等について

◇第6回（通算第65回）〔臨時〕R5.3.22 17:05～17:45 出席17人（うち委任1人）

1. 会館駐車場の利用について

2. 会館運営における当面の課題等について

□主な事業

ア. 今後の会館運営について、総合的な見地から方向性を審議した。

イ. 会館の施設設備等、主に会館の修繕に係る諸事項を審議した。

ウ。(株)あいち社労保険センターとの連絡調整事項を審議した。

(14) ADR運営特別委員会 委員会を4回開催した(設置からでは通算55回)。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回(通算第52回 WEB併用) R4.6.6 16:00~17:00 出席12人(うち委任2人)(構成員13人、以下同じ)

1. ADR小委員会報告
2. 能力担保小委員会報告
3. 紛争解決手続代理業務取扱者リストへの名簿掲載の確認について

◇第2回(通算第53回 WEB併用) R4.8.22 15:00~17:00 出席12人(うち委任2人)

1. ADR小委員会報告
2. 能力担保小委員会報告

◇第3回(通算第54回 WEB併用) R4.11.29 10:00~11:14 出席13人(うち委任4人)

1. ADR小委員会報告
2. 能力担保小委員会報告

◇第4回(通算第55回 WEB併用) R5.3.7 11:00~12:00 出席13人(うち委任2人)

1. ADR小委員会報告
2. 能力担保小委員会報告
3. 来年度への引継ぎについて

□主な事業

ア. センター愛知の運営に係る諸事項を審議した。なお、センター愛知あっせん手続き等事業結果(令和4年4月1日~令和5年3月31日)は、あっせん受理件数4件、和解2件、不応諾1件、年度内のあっせん手続の終了3件、センター愛知への問合せ及び個別労働紛争等に関する相談426件であった。

イ. センター愛知あっせん手続時にあっせん人となる候補者を対象に、あっせん人候補者実務研修(R4.10.25)を実施した。

ウ. 次期(令和5・6年度)あっせん人候補者養成研修を開催し(R4.11.29)、あっせん人候補者としての登録予定者74人を会長に推薦した。

エ. センター愛知のパンフレット、チラシを関係機関等に配布した。また、センター愛知ホームページにより機関PRに努めた。

オ. 特定社会保険労務士の資質向上のための能力担保研修を実施した。オンデマンド研修(受講期間は、第1回 R4.10.25~R4.12.26 第2回 R5.1.25~R5.3.27 受講会員数108人)と会場での対面受講(第1回 R4.9.12 第2回 R4.11.8 計2回/受講会員数54人)にて受講した。

カ. 業務基礎研修において、若手会員向けにセンター愛知の機関PRを行った。

(15) 事業開発運営特別委員会 委員会を5回(設置からでは通算20回)開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回(通算第16回) R4.5.11 15:00~16:30 出席4人(構成員4人、以下同じ)

1. 令和4年度企業主導型保育施設労務監査事業監査員候補の公募人選方法について
2. 令和4年度企業主導型保育施設労務監査事業上半期の監査について
3. 全国社会保険労務士会連合会への要望事項(最終版)について

◇第2回(通算第17回) R4.6.15 15:00~17:00 出席4人

1. 令和4年度企業主導型保育施設労務監査事業について

◇第3回(通算第18回) R4.6.28 12:30~13:30 出席4人

1. 令和4年度企業主導型保育施設労務監査事業監査員選定について

◇第4回(通算第19回) R4.7.20 13:30~16:50 出席4人

1. 企業主導型保育施設への労務監査の取り組みについて

◇第5回(通算第20回) R5.3.24 15:00~16:50 出席4人

1. 令和4年度企業主導型保育施設労務監査事業の反省点

2. 令和4年度企業主導型保育施設労務監査事業の改善点

3. 令和5年度企業主導型保育施設労務監査事業の公募条件について

4. 令和5年度企業主導型保育施設労務監査事業の配置基準について

5. 令和5年度愛知労働局委託事業の対応について

□主な事業

ア. 本会が受託するに適切な委託事業を調査した。

イ. 令和4年度企業主導型保育施設への労務監査事業に関し調整等を行った。

ウ. 愛知労働局から入札告示された「令和5年度中小企業・小規模事業者等に対する働き方改革推進支援事業」への応札を検討した。

(16) 法制定55周年記念事業特別委員会 委員会を2回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回(WE B併用) R4.12.20 15:00~16:45 出席13人(うち委任1人)(構成員13人、以下同じ)

1. 委員の紹介について

2. 法制定55周年記念事業について

3. 委員会開催日程について

◇第2回(WE B併用) R5.2.1 15:00~17:00 出席13人

1. 法制定55周年記念事業の予算について

2. 記念式典・パーティーの会場について

3. 記念表彰の表彰基準について

4. 記念講演の講師について

5. 記念パーティーの余興について

(17) 選挙管理委員会 委員会を1回開催した(通算1回)。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回(通算第1回 WE B併用) R4.10.12 15:00~16:00 出席19人(うち委任1人)(構成員19人)

1. 委員会運営について

2. 今後の日程について

3 支部の事業

(1) 会議の開催状況

ア. 令和4年4月に各支部において通常支部会を開催した。

イ. 支部事業の運営のため、幹事会等の支部役員による会議を定例又は臨時に開催した。

(2) その他の事項

ア. 労働、社会保険諸法令に係る研修、社会保険労務士業務に係る研修等、コロナ禍のなか、各支部の研修事業案を一部変更し、支部会員のニーズに添った研修をオンライン等により実施した。

イ. 官署（所）等協力事業として、支部管轄の労働基準監督署及び公共職業安定所、また年金事務所等、各支部と官署（所）等との緊密な連携、協力協議に基づき、業務の遂行等に協力した。